

# どうなってほしい？ 上越市

ごあいさつ

謹んで新年の寿ぎを申し上げます。昨年からコロナ災禍に苦しんでおりますが、一致団結して乗り越えてまいりましょう。今冬は暖冬が続いた後の豪雪で人材や準備も十分でなかったせいか、市民の皆様には不自由をおかけしました。国の財政支援・自衛隊派遣へのお願いを含め、この苦い教訓を活かした仕組みづくりに尽力して参ります。



さくらば節子の県政報告

Vol. 4 (令和2年度第3号)

2021.2.7

## 新型コロナウイルスと今後の課題

連日報道される陽性者数や医療現場の逼迫した状況に国民の心配も募る毎日です。国も中長期的展望を持つ対策に向けて尽力する中ですが、いくつかの課題と考察を述べたいと思います。

**超過死亡数** 年間死亡者数を例年と比較する「超過死亡数」を見ると、昨年は世界各国がコロナで激しく増加しているのに対し、日本は逆に1万人以上減少しているという結果になりました。減少国9か国の中で日本は最も減少率が高く、実はコロナ感染が日本において最も良く抑え込まれているということになります。

**集団免疫** その原因ですが、日本は東アジアの土着コロナウイルスに毎年のように被曝していて既に免疫を獲得しているという報告があります。実際東アジアは他地域と比較して重症化する患者が極端に少ない。また日本では19年頃から弱毒性のS型コロナ、20年1月に別の弱毒性のK型が蔓延していたようで、その後で強毒性のG型(COVID-19)が流行した時は既に国民全体に抗体ができていた、つまり集団免疫が造成されていたようです。

**ウイルス干渉** 今期のインフルエンザ死亡者数は例年の600分の1にまで減り、これが超過死亡数の減少の一因です。これはコロナにより既に自然免疫ができていたためにインフルエンザが撃退されてしまうこと(ウイルス干渉)が理由のようです。

**PCR検査の注意点** PCR法は遺伝子を数千万倍に複製し検出する技術です。日本ではウイルスを増幅するサイクル数(CT値)が高く設定されているために擬陽性が多く、これが現場の混乱に拍車をかけているようです。また検査の陽性(ウイルスへの曝露、ウイルスが体内へ侵入した状態)は必ずしも感染(ウイルスが細胞に取り込まれ増殖する)を意味しません。更に感染しても発症するのはごく稀であると言われております。医師の診断の元、発症者のみ適正な方法でPCR検査を行うことが大切なようです。

**対策の見直し** 人類は古来からウイルスと共存してきました。新型コロナも変異を繰り返して弱毒化し、いずれ風邪の一種として扱われるでしょう。指定感染症の分類2類から5類への格下げ、CT値設定の適正化、PCR検査から抗体検査への移行等、日本のコロナ対策を抜本的に見直す時が来ているように思います。これにより医療崩壊は解消し、国民の生活が普段に戻っていくことが期待されます。

**免疫力の強化** 国民一人一人がコロナウイルスに対処するには、帰宅後手洗いやうがい徹底するのみならず、日頃から免疫力をつけることが最善の方法です。十分な栄養と休養を取り、できる限り外出して獲得免疫を持続化し、日光からビタミンDを摂取するなどしてこの困難な時期を乗り越えたいものです。



新潟県発展への取り組みについて28個の質問をしました。その中からいくつかを紹介します。

## 健康づくり県民運動について

自然環境や食の豊かさなど、新潟県は健康立県を目指すにふさわしい土地柄です。健康をキーワードにして新潟県の魅力を発信し、移住を奨励できることでしょうか。これを踏まえて本県の健康づくり運動について質問しました。

**問** お米は栄養価が高く、日本人の体にとって良い遺伝子を作りだしてきたと評価されている。お米の価値を再認識し、県民の米飯促進の取り組みを強化すべきではないか。

**答** 県内の小売店や飲食店と連携して新潟県米消費拡大キャンペーン、協議会と「ご飯食を中心とした日本型食生活」への理解促進に取り組んでいる。

**問** 県はスーパーマーケットと連携し「からだがよろこぶデリ」の取組を始めた。その狙いと目指す成果は何か。

**答** 近年「中食」の利用が増えていることから、健康的な副菜等を提供して、バランスのある食事の価値を認識していただき、健康寿命の延伸を図る。

**問** 健康寿命延伸のためには適切な運動習慣を持つべきである。知事は見附市の「スマートウェルネスみつけの推進」をどう評価するか。

**答** 県民の運動習慣の定着率が伸び悩んでいる。みつけ市の事例を見て、健康に関心の薄い市民にも自然と健康になるようなハード整備や仕組みづくりなどを参考にして地域づくりに取り組んで行く。

**問** 本県は日本一の清酒産地であり、販売促進に励むべきであるが、同時に本県は日本一の清酒消費量を持つ。過度の飲酒は決して健康に良いとは言えない。飲酒と健康に関する取り組みを伺う。

**答** 多量の飲酒は癌や脳卒中、高血圧症、脂質異常症など多くの生活習慣病のリスク要因となる。こうした危険性に関する知識の普及啓発や予防相談から治療、回復支援に至る切れ目ない体制整備等を進めていく。

## 地域包括ケアシステムの構築について

国は2025年を目途に、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる為の地域包括ケアシステム構築を目指しています。しかし県民意識の醸成を始め、まだ取り組みが十分ではないと感じて以下の質問をしました。

**問** 互助体制づくりは地域によって状況が異なり、対策は遅れている。県の支援の取り組みを伺う。

**答** 生活コーディネーターを中心に住民を巻き込み地域課題を明確にしながら、住民組織やボランティアネットワークの構築に取り組んでいる。県民の更なる理解促進に努めていく。

**問** 上越市内にある在宅医療を専門とした民間医療法人を視察した。医療事務スタッフがICT(情報通信技術)を活用してカルテの記入を担当し、医師の業務量を軽減させていた。本県も在宅医療提供体制整備においてICTを活用すべきではないか。

**答** このことは承知している。県としてもICTの更なる活用を含めた取り組みで医師等の負担軽減に取り組んでいく。

## 県政の諸課題について

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い地方へ拠点を移す事業所や個人が増えている。空き家等に関する情報発信充実・強化を図るべきではないか。

**答** 各市町村による「空き家バンク」等の移住施策の更なる展開を支援し、県において情報を集約し移住ポータルサイトを活用した情報発信に努めている。

**問** コロナ下で本県に臨時滞在していた家族が子供の喘息が治り、それが理由で移住を決意した事例がある。このように健康をキーワードにして本県の魅力を積極的にPRすべきでないか。

**答** 本県の自然豊かで健康的な住環境や豊かな食生活はまさに本県における暮らしの大きな魅力であるため、今後はそれらをU・Iターンに繋がる明確なターゲットに情報提供していけるよう検討する。

**問** 上越・糸魚川地域振興局は「久比岐自転車道」の利活用促進に取り組んでいるが、県の健康立県のイメージとも合致するこの取り組みをどう評価しているか。今後さらに推進すべきと考えるがどうか。

**答** サイクリングをコンテンツとした観光誘客は時代の求める健康志向に合致して、インバウンドも視野に入れた交流人口拡大、地域の活性化も繋がるため、環境整備や情報発信などぜひ力を入れていく。

**問** 今冬は豪雪との予報を聞く。豪雪地帯対策特別措置法の特例措置の延長を要望した知事だが、人口減少が著しい豪雪地帯の安全・安心な暮らしのために更なる特例措置等を求める必要はないか。

**答** 近年は過疎化・高齢化の更なる進行により地域の克雪力が低下している。今後は新たな特例措置への要望について検討していく。

# さくらば節子の活動記録（令和2年10月～令和3年2月）



10月16日 めぐみさん拉致現場視察  
拉致対策議員団で現場を歩き、被害者  
全員救出の誓いを新たにしました。



10月17日 中山恭子氏講演会参加  
外交官としての拉致被害者や捕虜救済  
の体験から国防の神髄を学びました。



10月22～23日 砂防議員連明視察  
新潟県管内の県砂防事業を視察。国費  
が投入され安全が保たれています。



10月25日 「青田川を愛する会」茶会  
30年もの歴史を持つ同会の恒例の茶会  
に参加させていただき、和みました。



10月28日 市議団と柏崎原発を視察  
新たな安全設備が追加され、災害対策  
訓練等も頻繁に行われています。



11月3日 保阪邸特別企画視察  
県の消費喚起事業で採択された保阪邸  
を活用した古の催しは大盛況でした。



11月7日 牧区「お茶のみ散歩」を訪問  
市議会会派みらいと共に住民の皆様と  
意見交換し、今後の発展に助力します。



11月7日 新潟県錦鯉品評会視察  
錦鯉発祥の地小千谷市を訪問。体長1  
メートル近い美しい錦鯉たちでした。



11月25日 人口減少問題対策視察  
燕市・妙高市・十日町市を訪れ、各分野  
への多くのヒントを与えられました。



11月15日 きもので紅葉狩り主催  
「きもので素敵になる会」は美しい日本  
の伝統を守る為の活動を続けています。



11月28日 マミーズネットと意見交換  
保守系市議団と共に上越市の子育て環  
境について熱い意見交換をしました。



12月25日 「雪椿の会」知事要望  
保守系女性議員の会から県知事へ次年  
度の予算要望を行いました。

# さくらば節子の随想—米大統領選挙と今後の世界

今回の大統領選挙は単なるトランプvsバイデン、共和党vs民主党の戦いではなく、ナショナリズムvs共産主義+グローバリズムの戦いであったように思います。トランプ氏のナショナリズムは偏狭な国粋主義的なものではなく、主権を国民一人一人に取り戻すという性格のものであり、日本古来の「大御宝」（おおみたから、国民が宝である）にも通じるように思います。（日本にトランプファンが多いのはそれ故かもしれません。）一方共産主義やグローバリズムは少数の富裕層がそれ以外の人々を政治的・経済的に支配・搾取する全体主義的なものです。

実際トランプ大統領の4年間の実績の多くはこの「トランプイズム」を実現するようなものです。たとえば

- 中産階級のための歴史的な大減税
- 大量の規制緩和および廃止
- 不法移民から国民を守る（メキシコの壁建設）

等々。これらにより史上空前の好景気を作りました。またトランプ氏は類稀な平和主義者であり、近年では在任中に戦争を起こさなかった唯一の大統領でした。イスラエルとアラブ4カ国の国交正常化に大きく貢献したことはノーベル平和賞に値するとも言われています。また中国共産党の悪なる本質を明らかにし、徹底した反共政策をとりました。任期終了直前にポンペオ国務長官は中国のウイグル弾圧をジェノサイド（集団虐殺）と断定しましたが、これは今後多方面で大きな影響があることでしょう。

これらの政策は米国の中流層や低所得層、人種的にも白人だけでなく伝統的に民主党支持者が多かった黒人やマイノリティにも大きく支持され、今回の選挙では非常に人気の高かったオバマ大統領一期目の7,000万票をも上回る7,400万票を獲得しました。しかしながら、ほとんど選挙運動をせず、さほど人気もないバイデン氏がこれを更に上回る史上最多の8,100万票を獲得し選挙に勝利しました。バイデン氏への票は積極的支持というよりは反トランプという消極的な票が多いと推察されることも考えると、これはいささか不可解に思われます。

バイデン氏は選挙遊説中に「我々は史上最大規模の選挙詐欺組織を作った」とうっかり口走りましたが（聴衆はジョークだと思ったようですが）、実際に大規模な不正はあったのでしょうか？ここでは政府高官であるナバロ氏が昨年12月に提出した公的報告書「完璧な詐欺：選挙不正の6つの重要な側面」に言及しておきます。この中でナバロ氏は

- 郵便投票と不在者投票を劇的に増やす（実在し

ない人物・住所からのバイデン氏への大量投票）

- 認証レベルを劇的に低下させる（署名照合の省略、監視員不在での開票など）

等の方法で激戦6州で不正が行われ、バイデン氏の票数がトランプ氏の票数を上回るに十分な違法投票が行われたと結論づけています。また中国・イタリア等の外国政府の干渉もあったと取り沙汰されていますが、政府内の共産主義・グローバリズム勢力の抵抗で報告書が上がってこないと聞きます。

ちなみに不正があったと主張するならば、何故裁判で争わないのかという疑問が出ると思います。実際のところ米国の司法制度は日本と違い党派色が非常に強く、民主党系判事により不正の訴えは却下され審理自体がされていません。またテキサス州をはじめとする全14州がジョージア州など激戦4州の選挙結果の無効を連邦最高裁に訴えましたが、テキサス州には原告適格がないという理不尽な理由でこれも審理されませんでした。国の将来を左右する最重要案件を扱うことを最高裁までもが拒否したことに多くの米国人は本当に失望したようです。

何れにせよバイデン氏が正式に大統領に就任しました。米国保守層の多くは全体主義に呑み込まれることに不安と恐怖を感じていると聞きます。ぜひ一致団結してこの危機を乗り越えていかれることを願います。バイデン政権は表面上は中国に厳しい姿勢で臨むでしょうが、根底は親中国であり中国の覇権が一層進むでしょう。台湾や、日本においては尖閣諸島、沖縄に十分に気を付ける必要があります。日本人は国防意識を変え、安全保障政策を見直すことを余儀なくされるかもしれません。すでに米国のみならず日本においても主流メディアの偏向報道やビッグ・テックおよびTwitterによる言論統制が進んでいます。自由で開かれた新たな言論プラットフォームを早急に構築する必要があります。またトランプ大統領の反中国政策等により瀕死の状態であった中国経済が息を吹き返すことでしょう。今後グローバリズムが急速に拡大していくであろう中で、政府にはしっかりと国民優先の経済政策を取ってほしいものです。

発行日：令和3年2月7日

発行：櫻庭節子

住所：〒943-0882

上越市中田原78-27

さくらば節子事務所

電話：025-520-8221

Fax：025-520-8228

電子メール：office@sakuraba-setsuko.jp  
sakuranokaij@gmail.com